自分で運ぶもの編

キャデック引越虎の巻!!

・引越先のカギ（引越先へはカギを持っている方が必ず一番に着くように行くのが基本です。一番に行けない場合、本キーを差してしまった場合は、引越屋さんにカギを絶対に渡さないで下さい。差していない場合は、工事用キーを引越屋さんに渡して下さい）
・普段から使っている財布やお金
・大切に家具に入れて保管しておいた貴重品
・当日お昼や夕食を外食にしない方、飲み物、紙コップ、紙皿や割り箸などは梱包しないで別途お持ち下さい。
※忘れがちな物・行方不明になりがちなものは、いつも飲んでいるお薬、ティッシュ 1 箱やウエットティッシュ、トイレットペーパー 1 ロール、歯ブラシ、歯磨き粉、石鹸（ボディソープ）シャンプー、リンス、タオル、バスタオル、下着や靴下、水やお茶です。当日替える下着や着替え、翌日の洋服や出勤用のスーツ、ひげ剃り、化粧道具などは旅行バッグに入れ 1 泊旅行と同じ準備をして一緒にお持ち下さい。
当日の夜ご飯は深夜になる可能性があります。体力低下を防ぐ為にも、お昼ご飯はお子様分も含め忘れずに必ず食べて下さい。
（無理をして体調を崩した方が多いようです、ただでさえ引越はとても疲れるイベントです、十分お気をつけ下さい。小さなお子様がいる場合、出来ればご両親などにお願いして預かってもらって下さい。子供が居ない！なんてことがあります）
引越当日スリッパは足を滑らせ危険なので履かないで下さい。
足が汚れますので、捨てても良いと思う靴下や百円ショップなどで購入した使い捨ての靴下のご利用をお勧めします。
エアコンのリモコン、テレビのリモコン、オーディオ器機や照明器具のリモコン等は小さな箱にまとめてテープに部屋番号を書いた物を貼り、全部一緒に入れておきましょう。
（引越当日、エアコンのリモコンは、既存住宅で最後の作業であるポンプダウン作業※を行うため、必要になります。引越の荷物と一緒に梱包をしないで下さい）※室外機にクーラーガスを送る事
最後に必ず運び忘れの荷物がないか、現在お住まいの住居の確認を行って下さい。
（荷物の運び忘れがあり、引越業者さんとのトラブルに発展したり、賃貸の場合、大家さんから荷物を発見するまでの家賃を請求される場合や撤去費用に高額な請求をされることがあります。お気をつけ下さい。）
追伸：お引越しは前日夕方からトラックに荷物を積み込んでおくか、当日朝一番から行って下さい。当日開梱まではお疲れで出来ませんので、荷物搬入時、寝る場所の確保（本等重たい箱は移動出来ず後で困ります）を事前に引越屋さんに伝えて下さい。
最後にしつこいようですが、捨てる家具やゴミにへそくりや貴重品がないことをもう一度確認をして下さいね（笑）
新居で引越当日からお怪我等がないよう、お子様にも十分ご注意頂き、引越し後もご家族皆様がお幸せにお過ごし頂けますよう社員一同心よりお祈り申し上げます。

キャデック引越虎の巻!!　【裏面も必ずご確認下さい】

準備しておくこと

・引越が決まったら、現在通っている学校と移転先の学校等へ転校の申請をします。住民票の転出転入届、運転免許証、銀行等の住所移転もお忘れなく。
・１ヶ月以上前にお使いのプロバイダやケーブルテレビ会社等へ、引越の予約連絡をお願いします。特に２月・３月の繁忙期は、2 ヶ月以上前に予約をしないと引越当日からネットが見れない、テレビが見れないという事になりかねません。お早めにお願いします。
・電気・ガス・水道のお客様番号を現地で事前にメモしておきましょう。その後開栓や申し込みを引越し前までに終了しておいて下さい。特にガスの開栓は、早めに立会い日をガス会社に予約して、ご本人の立ち合いの下開栓して頂く必要があります。引越は荷物の移動などで汗をかきますので、当日シャワーが使えないと大変不便です。ガスの開栓は重々お早めの申し込みをお願いします。（最近電気と水道の開栓手続きは、電話やネットで出来る様になったようです。ご確認下さい）
・１ヶ月前から冷蔵庫内の冷凍食品や、飲料水、お酒のストック等を最低限に留めて下さい。（引越先には事前に浄水器を付けて当日から使えるようにしましょう）
・大型家具・大型家電・カーテン・カーテンレール・エアコン・居室の照明器具を購入する時のお願いです。事前に玄関から洗面所洗濯機置場までの搬入経路の寸法、玄関からキッチンの冷蔵庫置場までの搬入経路の寸法を測り、その経路を通せる家電品を選んで下さい。
・１ヶ月以上前にカーテン・カーテンレール・エアコン、居室の照明器具等を購入し、少なくても引越の２～３日前までに設置し、外から丸見えを防止して下さい。（冷蔵庫は到着から丸１日電源コンセントを入れず放置して、その後コンセントに電源を差し込み使用を始めて下さい）
・冷蔵庫や洗濯機、家具など、使用しているモノをご新居でもご使用になる場合は、設置場所だけでなく、搬入経路の寸法を確認し、搬入出来る事を必ずお客様が事前に引越し業者に内見して頂きご確認下さい。廊下階段など当社標準の有効寸法は、メーターモジュールの特別仕様を除き 780mm となります。
各居室及び洗面室の入口は 654mm が有効寸法となります。海外メーカーのものや、超大型の洗濯機や冷蔵庫は、施主様が必ずインターネットでの確認及びメーカーにお問合せ下さい。（自分で計った場合、冷蔵庫の背中が飛び出していることや、一番下の足が飛び出していることになかなか気が付きません。必ず寸法のご確認をお願い致します。ネットでサイズを確認できない家電や家具は買い替え時期かも知れませんね）
家具家電等をご購入の際、お選び頂くサイズの目安として、一番狭い開口寸法から両脇 5cm ずつ、合計 10cm 程度の余裕を見て下さい。巾だけでなく、高さについても 5cm 程度の余裕を持ってお選び下さい。また２階にキッチンがある等、上階への搬入の際は、階段からの搬入ができるかどうかを事前に引越し業者に必ず確認してもらって下さい。入らない場合はクレーンなどつり上げ搬入となり、追加料金が掛かる場合があることをあらかじめご了承下さい。
カウンターキッチンの場合は、キッチンを乗り越えて冷蔵庫を入れなければならない場合が有ります、引越し業者事前見積もり時にあらかじめ確認をして頂き、大変な作業になる準備をしてもらって下さい。インターホンや給湯機のスイッチ類、ドアや収納の扉、階段手すり、照明器具の脱着は、引越し業者の仕事になります。あらかじめ引越し業者にご確認の上、できることを確認して下さい。
工務店などに事前に取り外しを依頼した場合、別途脱着費用として 33,000 円が掛かります。東京近郊の住宅は、なかなか余裕をもって家を作る事が出来ません。LDK や居室を少しでも広く作れるよう努力をしております。どうかご了承頂きますようお願い申し上げます。
・２週間前に、不動産営業マンに引越用間取り（荷物置き場所指示図面）を請求して下さい、メールで送信致します。各２枚ずつコピーして、引越業者２枚、ご自分用２枚として下さい。
・引越業者を決めて下さい。決まりましたら段ボールを受け取り、荷物を箱に入れ、梱包が終了しましたら、あらかじめ荷物置場所図面に部屋番号を記入しておきその部屋へ同じ部屋番号の段ボールを運んでもらう様にしましょう。（運ぶ場所を間違えられないために、部屋入り口扉へ、部屋番号を記した紙を貼っておきましょう）
・分譲住宅の場合、引越の一週間から 2 日前、長年ご近所になる方々へ引越のご挨拶をして下さい。向こう三軒両隣へ基本的に家族全員でご挨拶へ行き、自己紹介をすると共に熨斗紙に「御挨拶」と書いた石鹸やタオルセットなど、ご用意した物をお渡し下さい。その時に当日ご迷惑を掛ける事と、トラックの台数や、引越し終了時間をお伝え下さい。（夜遅くまで引越作業をする事をお伝え下さい。予定時間よりも皆様２～３時間程度オーバーしているようです。）

当日行って頂くこと

当日指示図を引越のチームリーダーに渡して頂き、梱包の箱にどの部屋に何を運ぶか、事前に記入しておいたものを運んで頂きます。
粗大ゴミシールの用意と引取り予約（引取りの申込は 2 週間以上前に行って下さい、引越後に荷物が残ると管理人さんに怒られます）
燃えるゴミ、燃えないゴミは 1 週間前から捨て始めて下さい。掃除機は梱包せず運んでもらい、引越先ですぐ使える様にしましょう。
当日見積もり時に、引越屋さんと約束した引取ってもらうゴミや家具の選別（貴重品が残っていないか確認して下さい）の最終確認をして下さい。
引越代金は当日現金で、朝引越が始まる前に支払う事が多いようです。事前に振込をさせてもらうと安全ですね。
心付けを渡す予定のある方は、事前に小さな袋と新券で準備し、作業が始まる前に皆さんにお渡しすると頑張ってもらえます。（お一人 2,000 円～3,000 円）
契約書や株券、保険証券や各種保証書、パスポート等重要書類は作業前に引越屋さんに伝えてから渡して下さい。
高価な絵画、美術品、オーディオ器機などは保険加入するなど事前打合せをし、扱い方法を必ず引越屋さんに伝えておいて下さい。